

議会による提言書

令和2年5月13日

登米市議会

提言書

近年、自然災害が多発し、市民の生活や市の産業に及ぼす影響も甚大化して来ている。また、新型コロナウイルス感染症拡大による感染予防対策が長期化することでの市民生活への不安、地域経済の疲弊が危惧される。

地域の中で経済と雇用を循環させながら地域経済の基盤を維持し、地域社会の持続可能性を高めるため、下記の提言を行うものである。

【産業建設常任委員会による提言】

○市内企業の防災対策について

市内企業では多くの従業員を有し、日々企業活動が行われている。企業には従業員の生命の安全を守る安全配慮義務があると同時に、地域社会の一員として企業活動を維持していく社会的責任もある。日中多くの時間を市内で生産活動に従事する従業員の安全確保のため、防災と事業継続の観点から、市においても次の対策が必要と考える。

1. 災害発生時の避難行動の点検と防災訓練

災害が発生した場合の災害想定、避難経路や避難所を市作成ハザードマップで点検し、災害時の避難行動を確認するよう市内企業に周知すること。

2. 市内企業へ緊急告知ラジオの貸与

防災情報は、企業活動の意思決定や従業員の安全確保に欠かせないものである。市が所有している緊急告知ラジオを可能な限り貸与し、市内企業が従業員の安全を確保できるよう検討すること。

○市内商工業者の支援について

世界的な新型コロナウイルス感染拡大による、経済活動や個人消費の冷え込みが懸念されている。市内商工業者の不安を和らげ、地域経済を持続的に循環させるため、市として積極的に対策を講じられたい。

1. 資金繰りの支援

企業活動を継続していく上で、資金繰りについて不安を抱いている中小企業が多いことから、国・県の支援制度について積極的に情報提供するとともに、市内金融機関と連携しながら、必要な財政措置を講じること。

2. 経営相談の充実

資金調達や事業継続についての相談を受け、公的支援制度につなげるため、登米市ビジネスサポートセンターを中心に、市内商工業者に寄り添った経営支援体制をとること。